

## 審判要領

(令和7年度)

群馬県小学生バドミントン連盟

本大会は、ローカルで規定する事項以外は、日本協会の競技規則に則って行います。

運営にご協力いただく皆様におかれましては、審判資格を保有するかこれに準じた試合進行ができるように、競技規則をご一読いただきますようお願いいたします。各クラブの代表者におかれましては、ご協力いただく皆様に競技規則の習得について特段のご配慮をお願いいたします。

### 1. 服装

- ① 選手の服装は、競技規則に従い日本協会の検定品を着用し、背中に選手名とクラブ名を記載したゼッケンをつけてください。ゼッケンや文字の大きさについても関東大会や全国大会では規程に沿って計測されます。できるだけ競技規則に沿った大きさのものを用意してください。  
なお、本大会では計測は行いません。また、文字が明確に記載されていれば可とします。
- ② 選手は、上衣を下衣に入れてプレーすることとします。主審は、上衣が出ていることに気がついたらラリーの間などに下衣にいれるように指示してください。インターバルの際には、着衣を確認してください。
- ③ 「コーチ（監督を含む、コーチ席に座る人）」は競技規則に沿った服装とします。但し、熱中症対策として、上衣については、関東TシャツもしくはチームTシャツ、バドミントンメーカーの作製するTシャツ、下衣については、日本協会検定合格品の短パン及び七分丈等のショート丈のパンツは可とします（ショート丈のパンツは検定品以外でも可としますが、スポーツ活動に相応しい色、柄としリゾート用のバミューダパンツなどは不可とします）。
- ④ 「主審」は、競技規則に沿った服装又は競技選手のサポーターとして試合（マッチ）をコントロールする立場になりますので、それに相応しい服装（スポーツウエア、ショート丈のパ

ソツなどは可)、身だしなみを心がけてください。問題があると思われる場合は、声をかけさせていただくことがあります。

- ⑤ 競技委員、運営委員もコーチ、主審に準じた服装をお願いします。

## 2. 主審

- ① 主審は、タイムテーブルに記載されたコート割当で行います。
- ② 主審は、基本的ルールを理解している中学生以上をお願いします。
- ③ 主審は、ポイントをコールするだけでなく、選手やベンチの指導者にも注意をはらい、競技が適正に行われるように「マッチコントロール」をお願いします。
- ④ ジャッジに疑問などがあれば、遠慮なく速やかに本部にお知らせください。

## 3. ポイント

- ① 正規ルール 21点3ゲームマッチ（2ゲーム先取）、延長30点まで。
- ② 簡易ゲーム 15点3ゲームマッチ（2ゲーム先取）、延長21点まで。
- ③ その他、大会プログラムの競技進行上の注意により別に定めがある場合はそれに従って行います。

## 4. 試合（マッチ）の進行

### （マッチの始め）

- ① 主審は、本部席に向かいあう側に立って行ってください。
- ② 選手が集合したら、ゼッケンでクラブと名前を確認し、審判用紙と合っているか確認。
- ③ 姓だけでなく名前も確認。
- ④ 選手の持ち物は、主審の立ちサイド（ショートサービスライン付近）に置く。
- ⑤ 水筒や飲料容器は直接床に置かずバッグに入れておく。クーラーボックスのハードケー

スは使用不可、ソフトケースはコーチング席に置くこと。

- ⑥ 滑る止めの雑巾は使用不可。
- ⑦ トス（コイントス又はじゃんけん）は観客席の側のエンドに選手を呼んで行う。勝ったほうに「エンド」か「サービス又はサービスレシーブ」を選択させる。負けた方には、勝った方が選択した以外のものを選択させる。
- ⑧ トスの結果、主審から見て右サイドの選手の名前の横に、「R」と記載し、左サイドの選手の名前の横に「L」を記入する。
- ⑨ 試合前練習はタイマーを使い、3分間の練習を行う。シャトルは選手の持ち寄りとする。
- ⑩ 練習が終了したら、汗拭き、水分補給など試合の準備をさせ、準備が整ったらコートに入るように促す。
- ⑪ 右側の選手から（オンマイライト）「名前・チーム名」をコールする。続いて、左側の選手を（オンマイレフト）「名前・チーム名」をコールする
- ⑫ 続いて、サービス側の選手「名前」トゥ サービス トゥ「名前」をコールし、「ラブオールプレイ」とコールし試合を始める

#### （サービスジャッジ）

サービスジャッジがつかない場合は、主審がサービスジャッジを兼ねてください。

#### （インターバル）

- ① インターバルになったら、得点及び「インターバル」とコールし同時にタイマーを押す。
- ② 正規ルールでは、11点で1分間、ゲーム間で2分間。ファイナルゲームの11点ではインターバルの間にチェンジエンズ（エンド（ネットを挟んで「左右」）を交替）する。
- ③ 15点ゲームではゲーム途中でのインターバルはとりません。ファイナルゲームではどちらかの選手が8点を取ったら、1分間のインターバルをとりその間にチェンジエンズを行う（その際、水分補給や汗拭きは認めるが速やかにコートインしてプレイを続行してください。コーチのアドバイスはその間に速やかに行ってください。）。

#### (ゲーム終了)

- ① 21点ゲームでは20点のとき、ポイントのコールのあと「ゲームポイント」とコールし、その後に相手のポイントをコールする。
- ② 1ゲームを勝った方が2ゲームにゲームポイントとなったときは、「ゲームポイント」の代わりに「マッチポイント」とコールする。
- ③ 「ゲームポイント」、「マッチポイント」は1回コールすればよく、延長になって再びゲームポイントの状況になってもコールしない。
- ④ ゲームの最終得点になったら、ポイントをコールしたあと「ゲーム」とコールする。
- ⑤ さらに、「ゲーム ワン バイ (勝った選手の名前)、(ポイント)」をコールする
- ⑥ 試合終了の場合は、「マッチ ワン バイ (勝った選手の名前)」をコールし、さらに、試合終了時にはすべてのゲームのポイントをコールする。

#### (勝者の確認)

- ① 勝った選手に得点を確認してもらい、勝者欄にサインをもらう。
- ② 最終得点を上段に記入したら、勝者の名前を大きく○で囲む。

#### (次の試合の線審)

- ① 試合を終了した選手は、試合終了後にそのコートで線審をする。
- ② 準決勝以降は敗退した選手を指名する。
- ③ トイレや着替えをする場合は速やかに行うように配慮するか、長くかかりそうだったり、続けて線審ができない場合は代わりを見つけるように促す。

### 5. 線審

- ① 主審は、シングルス、ダブルスの試合の切り替え時において、それぞれの試合でサイドラインに対し、線審が正しい位置にいるか確認してください。

- ② ライン付近の判断は線審が行う。
- ③ ライン付近にシャトルが落ちたら、主審は線審の目や表情をみながら線審のジャッジを確認する「アイコンタクト」を積極的に行ってください。
- ④ ジャッジが正確に行われたと思わったら、小さくうなずいてあげると線審とのコミュニケーションがうまくいきます。
- ⑤ 線審のジャッジの前に、主審の判断で次に進まない。
- ⑥ 線審は、主審がジャッジを確認するまで、「アウト」「イン」のジェスチャーをやめないようにする。
- ⑦ 線審のジャッジが明らかに間違っていたら、オーバーコールをしてください。「アウト」のコールを覆す場合には「コレクションイン」、「イン」のコールを覆す場合は「コレクションアウト」とコールしてください。
- ⑧ オーバーコールした場合は、選手にそのことを説明してあげるといいと思います。
- ⑨ ラインジャッジが正確に行われるように主審もできるだけライン付近に落ちるショットを見逃さないようにしましょう。

## 6. 得点板

- ① 主審、得点係は、正しい得点が表示されているか常に確認する。
- ② 線審が得点板を兼ねているときは、点めぐりに時間を要するので、主審は、正しい得点が表示されるまで、選手にラリーを始めるのを待つように促す。
- ③ ゲーム終了後、ゲームカウントの札がある場合は、ゲームの勝者側の札を「1」とする。

## 7. 選手

- ① フットフォルト、サービス高などのサービス時のフォルトについて、主審は、気づいたら速やかにフォルトを宣告すること。

- ② バックハンドのいわゆる「ロングサービス」を行う際には、打点が規定より高くなることもあるので注意する。
- ③ 羽の部分を先に打ったり、シャトルに回転をかけて打つ「スピンサービス」は禁止。気がついたら「フォルト」とコールする。
- ④ 構えてからサービスを始めるのに時間がかかるなどの遅延行為（構えてから5つ数える間にサービスを始めない場合は「遅延」に当たる可能性が高い）や、相手に向かって大きく拳を上げるなどの不適切なふるまいをする場合には注意してください。

## 8. コーチング

- ① ラリー中のアドバイスや応援は規則違反になります。主審は、そのような行為に気づいたら注意する。又は本部にお知らせください。
- ② 主審や線審への抗議は認められていません。また、線審のジャッジの前に判定に影響を与えるような行為は禁止。そのような行為があった場合、主審は本部席の競技役員を呼んでください。
- ③ 個人戦では、主審に質問ができるのは、選手のみです。

## 9. 本部席のヘルプ

- ジャッジや選手、指導者の行為に疑問がある場合、主審は、「手を上げて」本部席の競技役員を速やかに呼んでください。
- 未使用のシャトルが手元になくなった場合は、シャトルケース又はシャトルを持って手を上げ本部席に知らせてください。

※本「審判要領」は一部に本大会のためのローカルルールを定めています。競技規則との差異についてご注意ください。

令和 7 年 8 月 27 日改め

- ・ サービスジャッジについて追加

- ・ 字句の修正

令和 7 年 8 月 10 日改め

令和 7 年 6 月 21 日初出